

日常点検

1. 電池残量を確認してください。
2. フィルターが汚れていないか確認してください。
3. サンプリングプローブがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

使用方法

1. 電源の入れ方

ブザーがピツとなるまで[POWER]スイッチを押し続けます。
電源が投入され、初期動作の後、検知モードになります。

2. エア校正の仕方

[AIR]スイッチを押し続け(RELEASE)表示になったら、放します。
ガス濃度表示がゼロ(酸素は20.9)になります。

3. 検知の仕方

サンプリングプローブの先端を測定場所に向け、LCD表示部を読み取ってください。

4. 警報解除の仕方

[RESET]スイッチを押すことで、警報の解除ができます。

5. 電源の切り方

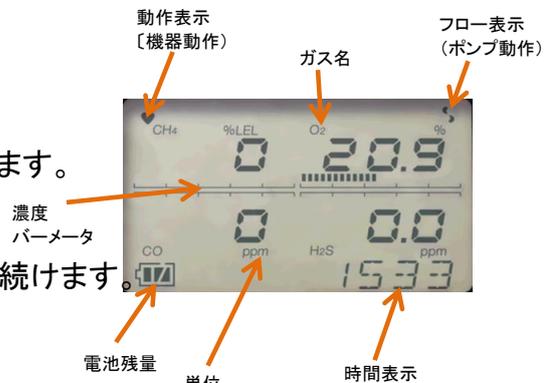
[POWER]スイッチを長押し、LCDが消えるまで押し続けます。

6. 充電の方法

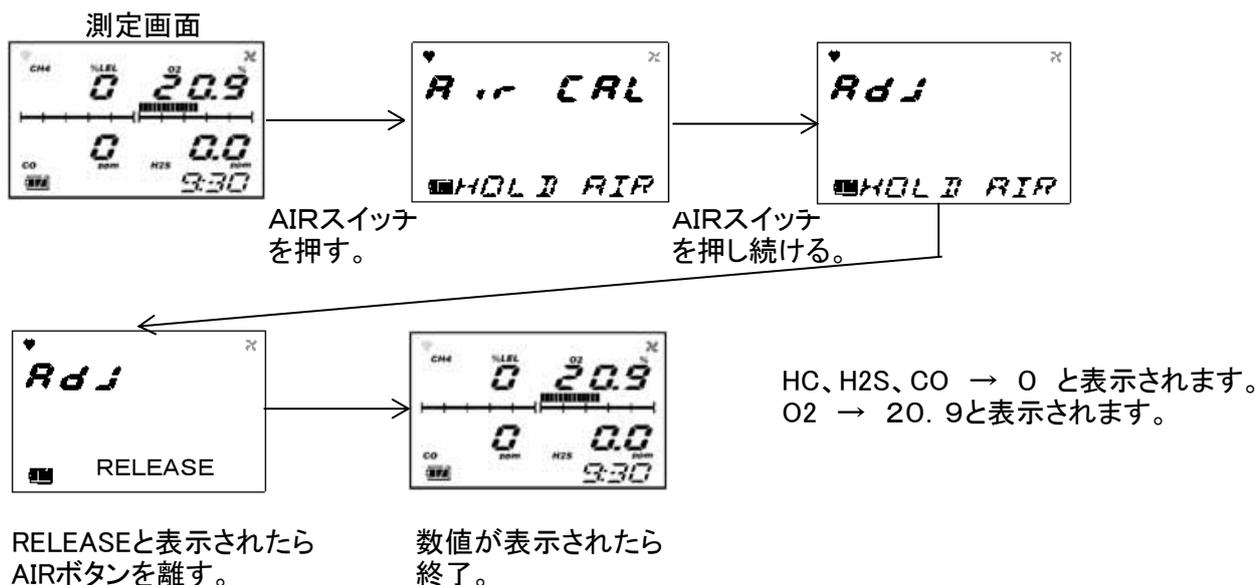
- ① 本器の充電ジャックカバーを開けて下さい。
- ② 充電用ACアダプタのプラグを本器の充電ジャックへ差し込んで下さい。
(充電が開始されると充電確認用ランプが点灯(赤)します。)
- ③ 充電が終了すると充電確認用ランプは消灯します。
- ④ 本器の電源ジャックからACアダプタのプラグを抜き、充電ジャックカバーを装着して下さい。この際、充電ジャックカバーは奥までしっかり押し込んで下さい。

注意事項

- ・危険場所では電池交換を行わないで下さい。
- ・危険場所ではAIR校正を行わないでください。
- ・ガス排出口には火気を近づけないで下さい。
- ・充電は非危険場所で行ってください。
- ・充電しながら本器を使用しないでください。正しい測定ができません。
- ・充電終了後は充電ジャックカバーを装着してください。水が浸入する可能性があります。
- ・検知結果により、生命・安全を保証するものではありません。



エア校正の方法



フィルター交換方法

- ①透明部分を持ち、先端部(白い部分)を回して外します。
- ②透明部分からフィルタを取り出し、新しいフィルタに交換します。
- ③外した先端部を取り付けます。



↑↓ 交換



注意事項

フィルターには方向がありますので、取り付けには
ご注意ください。

トラブルシューティング

FAIL SYSTEM	本体回路に異常があります。販売店または最寄の弊社営業所まで修理をご依頼頂き、表記内容をご連絡ください。
エラー番号000	内部ROMの異常がある。
エラー番号000	内部RAMの異常がある。
エラー番号000	内部FRAMの異常がある。
エラー番号000	内部FLASHの異常がある。
FAIL~BATTERY	電池残量がなくなっている。充電もしくはバッテリーを交換してください。
FAIL~SENSOR	センサが故障しています。販売店又は最寄の弊社営業所まで表記内容をご依頼ください。
FAIL~LOW FLOW	ガス採集チューブに目詰りがある場合、改善後[警報解除]を押して下さい。 ポンプが故障している可能性であった場合、販売店又は最寄の営業所までポンプ交換をご依頼ください。 長期間動作していない場合、電源のON、OFFを数回繰り返してください。 改善しない場合は販売店又は最寄の弊社営業所までポンプ交換をご依頼下さい。
指示が上がった(下がった)まま戻らない。	センサがドリフトしています。AIR校正を行ってください。
ガスが存在しないのに警報が発する。	干渉しています。測定以外のガスが存在してる場合、センサに悪影響を及ぼします。 ノイズの影響が考えられます。電源の再起動を行ってください。頻繁に症状が発生する場合はノイズ対策を行ってください。 干渉している場合があります。除去方法など弊社最寄の営業所へご相談ください。

1年に1回以上のメーカー点検を行うことをお奨めします。